

朝鮮総督府 生活状態調査 地域編 全5巻

広瀬 順皓 解題

- ①水原郡 定価12,000円(税別) ISBN4-87733-316-9
- ②濟州島 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-317-7
- ③江陵郡 定価16,000円(税別) ISBN4-87733-318-5
- ④平壤府 定価16,000円(税別) ISBN4-87733-319-3
- ⑤慶州郡 定価20,000円(税別) ISBN4-87733-320-7

A5判/上製函入/クロス装/本文クリーム中性紙 平成18年3月末日刊行

揃定価75,000円(税別) ISBN4-87733-321-5(セット)

クロス出版好評既刊書

朝鮮近代史料研究

全9巻 財団法人友邦協会編 橋谷弘解説

朝鮮総督府高官らに植民地支配の実態を開き、録音したテープの中から厳選して活字化した『友邦シリーズ』30冊を内容別に編纂。総督府の予算を編成した財務局長の水田直昌の朝鮮近代財政に関する事や、『朝鮮ノ小作慣行』の主任事務官であった塩田正洪などの収録。揃定価200,000円 ISBN4-87733-120-4(セット)

朝鮮総督府統計要覧

全10巻 朝鮮総督府編 広瀬順皓解題

土地、気象に始まり、産業、金融、財政、交通、警察、衛生等、植民地朝鮮をデジタル化した経済的社会的研究の基礎資料。多くの項目については「最近数年分を列記して」いるから、各項目にかかるその変遷消長の状態を通観することができる。揃定価158,000円 ISBN4-87733-257-X(セット)

増補朝鮮総督府三十年史

全3巻 朝鮮総督府編

朝鮮総督府の施政を歴代総督毎に分けて詳細に記述し、日本の朝鮮支配四十年を通覧する第一級史料。「施政方針」「財政」「産業」と続く各項目は、当該時期の朝鮮統治を簡潔に物語り、日本の朝鮮植民地支配研究の辞書代わりにも利用できるレファレンス・ブック。揃定価36,000円 ISBN4-87733-062-X

朝鮮満蒙地誌叢書

全3巻 朝鮮及満州社編

大正7年に刊行された『朝鮮及満蒙叢書』を底本とする朝鮮・満州・シベリアの貴重文献。日本近代史、東アジア近代史研究必讀書。朝鮮地誌 定価26,000円 ISBN4-87733-081-X
満州地誌 定価16,000円 ISBN4-87733-082-8
西比利亞地誌 定価8,000円 ISBN4-87733-083-6

満州国現勢

全9巻 満州国通信社編 井村哲郎解説

建国から康德10年版まで刊行された、満州国に関する基本的な事項の変遷を調べるために有用な年鑑。満州国の特記すべき事績、中央行政統治機構の概説と主要官僚の略歴等を詳細に記述し、年表、主要統計も掲げている。満州国をめぐる内外情勢に関する解説もある。揃定価250,000円 ISBN4-87733-100-X,101-8

満洲誌草稿

全15巻 関東都督府陸軍經理部編 安富歩解説

明治39年より同44年に至る実地調査報告に基づく膨大かつ詳細な秘密資料。豊富な数量データを表や図で示し、図版や写真も多数収載。第一輯 一般誌全4巻、第二輯 満洲地方誌(奉天省、吉林省、黒龍江省)全7巻、第三輯 接境地方誌全3巻、附録 全1巻 揃定価298,000円 ISBN4-87733-114-X(セット)

日本委任統治地域行政年報

全7巻 外務省編 等松春夫解説

1920年から38年まで日本政府が毎年国際連盟に提出した日本統治下の南洋群島の行政報告。行政のみならず法制、産業、交通、労働、教育、医療、軍事等のデータを収録し、戦間期の植民地支配の国際比較研究にも役立つ、南洋群島統治研究の基礎史料。揃定価100,000円 ISBN4-87733-061-5

樺太廳報

全7巻 樺太廳文書課編 荒澤勝太郎解説

樺太廳の施政並びに法令に関する意図や其の内容を詳かにし、又汎く本島の産業・文化に関する研究意見を紹介することを趣旨とした官庁誌。第1号(昭和12年5月)～第20号(昭和13年12月)の全号全頁、「樺太時報」の目次・樺太日誌・資料月報を全号復刻。揃定価97,000円 ISBN4-906330-10-X


朝鮮総督府 生活状態調査 地域編

全5巻 水原、濟州島、江陵、平壤、慶州の詳細な歴史的、民俗的資料。

広瀬 順皓 解題 クレス出版 発行



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎(03)3808-1821 ㊟(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

 株式会社クレス出版

『朝鮮総督府生活状態調査地域編』の刊行によせて

駿河台大学

広瀬順皓

今回刊行する『朝鮮総督府生活状態調査 地域編』は、大正末年から昭和一〇年にかけて朝鮮総督府官房庶務部調査課が刊行した一連の調査資料のなかで、生活状態調査として刊行されたものうち、朝鮮総督府嘱託善生永助が編纂執筆した調査報告書をまとめたものである。総督府官房調査課は大正末年から昭和一六年頃まで多くの調査資料を刊行しており、それらは現在でも学問的・史的価値の高いものが多い。

植民地統治にあたって、統治者が最初に行う調査事業として第一にあげられるのは旧慣調査であろう。これは新たに獲得した植民地統治の基礎として行ったものであり、国内の法令を植民地に適用するための基礎データの収集という側面も持っていた。しかし大正末年から行われた総督府官房調査課による一連の調査は、第一次世界大戦後の社会的変化に対応するため、朝鮮統治の実態を明らかにしようとして行われたものであり、実態を把握した上で具体的施策を構想するための政策の一環として行われた。すなわち日本の植民地経営が安定期に入るとともに、ヴェルサイユ会議やソヴイェト・ロシアの成立に象徴される民族主義・共産主義にどのように対応すべきかが、朝鮮総督府にとって喫緊の課題であった。このことは官房調査課が刊行した調査資料の一覧を見れば了解できる。そこには朝鮮の物産・流通から宗教・民族にいたるまでさまざまな問題がとりあげられているのである。それはとりもなわずこの時期における朝鮮全体の現状報告でもある。

今回、『朝鮮総督府生活状態調査 地域編』の名で刊行する水原郡・江陵郡・平壤府・慶州郡の各生活状態調査は、経済事情に始まり、部落の特相・生活様式・文化思想・生活状態・農家の収支という章立てからもわかるように、朝鮮民族の現状を民族も交えて分析したものであり、当該記事の貴重な歴史資料であると同時に民俗資料でもある。加えてこの調査報告の各冊には、部落・民家・官署・産業・交通・商業・教育・宗教などに分類された大量の写真が付されているが、これも他書に類を見ない特徴といえよう。

平壤府

生活状態調査

一〇六

貧富

貧富の程度 平壤は商工業の盛んなる市街で、商工業者中には資力あるもの尠からず、殊に同地の朝鮮人商人は、開城商人と共に鞏固なる商業勢力を有し、概して富の程度は高いが、職工・労働者等に在りては貧困なる生活を営むものも相當に多く、殊に最近人口の都市集中愈々大となり、不景氣に伴ひ多くの失業者を出し、勞銀の低下を來し、窮民數を益々増加せしめて居る。

種別	人員	種別	人員
一萬圓以上	五九二	四萬圓以上	四〇
二萬圓以上	二五七	五萬圓以上	窮民
三萬圓以上	一三二	十萬圓以上	乞食
			二〇〇

以上は平壤府内のみの貧富調を示したものであるが、平壤府を圍繞する大同郡は、平壤府内に職業を有するものも多く生活し、工場・炭坑・營農・運輸等、すべて府の延長と目すべき部分も尠くないから、その各面別の貧富調を左に掲げて見る。

慶州郡

生活状態調査

三三四

社會知識

國語の普及

慶州地方は古來儒教佛教の盛んな地であり、概して新しい教育機關も普及し、鐵道、道路等の交通機關も發達して居り、殊に各所古蹟に富み四時遊覽客も多いので、一般に社會知識は進歩して居るが、先づ朝鮮人間に於ける國語普及状態を見るに、昭和六年現在に於ては左の通りである。

國語普及及調 (昭和六年)

邑面名	稍解し得る者		普通會話に差支なき者	
	男	女	男	女
慶州	四三二	一九〇	六五八	一〇五
内東	三三三	二〇	一九七	八
陽南	一九八	二二	二二〇	三三
陽北	五五五	六六	六七五	四二
外東	三三〇	一六	一七七	二一
内南	三三三	二二	一七六	一〇
山内	一五九	一九	一四〇	二二
西面	二四一	三元	二八〇	四九
計			七三三	二〇五

朝鮮総督府生活状態調査 地域編

① 水原郡

昭和四年九月
經濟事情(地勢、氣象、物産、交通・通信、土地、人口、農業、林業、工業、鉱業、漁業、商業、財政、金融)、部落の特相(部落の構成、同族部落、貧富の程度、共同団結)、生活様式(食物、服装、住宅、燃料、燈火、冠婚葬祭)、文化思想(教育、信仰、選挙、対人関係、娯樂、嗜好習癖、犯罪、衛生)、生計状態、農家の収支

② 濟州島

昭和四年十二月
經濟事情(地勢、地質、氣象、物産、交通・通信、行政、土地、人口、農業、畜産、林業、水産、工業、商業、財政、金融)、部落(部落の構成、市街地、模範部落、優良部落、内地人移住漁村、共同団結)、生活(服装、食事、住宅、遊興・浪費、燈火、燃料、冠婚葬祭)、文化(風俗、民心、教育、信仰、選挙、犯罪、衛生)、生計(貧富の程度、農家の収支、農家生計状態)

③ 江陵郡

昭和六年一月
地誌(地勢、地質、氣候、名勝古蹟、物産、戸口、交通、通信、行政)、經濟事情(農業、林業、水産、鉱業、工業、商業、租税公課、金融機関)、部落の現状(部落の構成、町洞里別戸口、同族部落、模範部落、部落の団結、部落民の貧富)、生活様式(住宅、食物、服装、燃料、燈火、冠婚葬祭)、文化・思想(教育・知識、宗教・信仰、迷信・伝説、嗜好、習癖、娯樂、対人関係、選挙、警察、衛生)、家計状態(農家經濟調査、農家収支表)

④ 平壤府

昭和七年四月
總説(沿革、位置、氣象、物産、名勝旧蹟)、生活(市街・戸口、生活様式、冠婚葬祭、貧富、娯樂遊興)、行政(行政、財政、警察・衛生)、文化(教育知識、思想・信仰、社会施設)、經濟(農業、工業、商業、金融、電気事業、交通)

⑤ 慶州郡

昭和九年二月
地誌(沿革、行政、地勢、氣候、土地、戸口、物産、交通、通信)、古蹟伝説(古蹟、古墳、王陵、城・鎮・燧燧、伝説)、衣食住(住宅、服装、食物、燈火及び燃料)、風俗習慣(社会階級、家族制度、冠婚葬祭、娯樂遊興、年中行事)、聚落(聚落の發達、姓氏、同族部落、部落の統一・団結、模範部落、特殊部落)、文化思想(学校、儒教、社会知識、宗教・信仰、童謡・民謡、警察、衛生)、經濟事情(農業、林業、鉱業、水産、工業、商業、金融、財政)、家計調査(經濟更生五箇年計画樹立農家の基本調査、勸農共済組合基本調査、指導生家計調査、資産・負債)

